

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本語表現 I
科目基礎情報						
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教育科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	『みんなの日本語初級1・2 第2版』					
担当教員	兵藤 桃香					
到達目標						
この科目は長岡高専の教育目標の（B）と主体的に関わる。この科目の到達目標と成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連性を以下の表に示す。 1) 日本語初級レベルの既習項目を用いて自己表現ができる。35% (b1) (b3) 2) 既習項目の文法・語彙を適切に用いて自己表現ができる。35% (b1) (b3) 3) 基礎的な作文・レポートのルール習得及び適切に使うことができる。30% (b1)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本語初級レベルの既習項目を用いて自己表現ができる。	日本語初級レベルの既習項目を用いて自己表現ができる。		日本語初級レベルの既習項目を用いて自己表現が概ねできる。		左記レベルに達していない。	
既習項目の文法・語彙を適切に用いて自己表現ができる。	既習項目の文法・語彙を適切に用いて自己表現ができる。		既習項目の文法・語彙を適切に用いて自己表現が概ねできる。		左記レベルに達していない。	
基礎的な作文・レポートのルール習得及び適切に使うことができる。	基礎的な作文・レポートのルール習得及び適切に使うことができる。		基礎的な作文・レポートのルール習得及び適切に使うことが概ねできる。		左記レベルに達していない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本語の既習項目を用いて作文を書き、自己他己表現の機会に触れるような指導を取り入れる。また、基礎的な文章表現の方法を習得し上級学年での学びに繋げる。					
授業の進め方・方法	・日本語初級項目を用いて、簡単な自己表現や日本語で自身の考えを表現する楽しさを学ぶ。また、相手の書いた文章を読み自己表現に繋がられるよう指導する ・基礎的なレポートや作文の書き方をマスターする ※学習内容は学生のレベルに合わせ適宜変動の可能性あり					
注意点	1. 無断遅刻・欠席厳禁（何らかの手段で事前に連絡すること） 2. 飲食厳禁 3. 課題を提出すること 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	作文の書き方ルール L1			
		2週	L2・3			
		3週	L4・5			
		4週	L6			
		5週	L7			
		6週	L8			
		7週	前期中間試験			
		8週	L9			
	2ndQ	9週	L10			
		10週	L11			
		11週	L12			
		12週	L13			
		13週	L14			
		14週	L15			
		15週	前期末試験			
		16週	試験解説・発展授業			
後期	3rdQ	1週	L16			
		2週	L17			
		3週	L18			
		4週	L19			
		5週	L20			
		6週	まとめ			
		7週	後期中間試験			
		8週	レポートの書き方①			
	4thQ	9週	レポートの書き方②			
		10週	レポートの書き方③			
		11週	発表資料の作り方①			
		12週	発表資料の作り方②			
		13週	参考文献の書き方①			

		14週	参考文献の書き方②					
		15週	後期末試験					
		16週	試験解説・発展授業					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	まとめ試験①	まとめ試験②	後期中間試験	後期末試験	課題	出席・態度	合計	
総合評価割合	15	15	20	20	20	10	100	
基礎的能力	15	15	20	20	20	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	